



2006年5月25日

「かふふ驛煉瓦ひろば」竣工記念セレモニーの実施について

開業当時の「甲府駅」（明治36年開業）の名残を伝える「旧煉瓦倉庫の一部」「旧甲府駅の釣鐘」「旧こ線橋柱」を集めた甲府駅の新名所「かふふ驛煉瓦ひろば」が竣工いたします。これを記念して6月11日（日）に竣工記念セレモニーを実施いたします。

■竣工記念セレモニー

- ◇開催日時 2006年6月11日（日） 午前9時50分～
※開業記念日（開業：明治36年6月11日）
- ◇開催場所 「かふふ驛煉瓦ひろば」前（甲府駅1番線ホーム）
- ◇内容 テープカットなど
- ◇出席者 ・山梨県観光部観光振興課長 ・甲府市産業部長
・山梨県観光物産連盟専務理事・甲府商工会議所専務理事
・甲府駅長 ・八王子建築技術センター所長
・「かふふ驛煉瓦ひろば」命名者（3名）設計者（1名）



■「かふふ驛煉瓦ひろば」の命名について

「かふふ」とは「こうふ」の歴史的仮名遣いであり、甲府駅は「かふふえき」として親しまれていました。甲府駅にまつわる「旧煉瓦倉庫」「旧甲府駅の釣鐘」「旧こ線橋柱」を集め、お客さまに親しみを持っていただけるように、この場所を「かふふ驛煉瓦ひろば」と命名しました。

■旧甲府駅煉瓦倉庫

明治～昭和初期までの間、汽車内はランプで灯りをとっており、煉瓦倉庫はそのランプの灯油の補給や整備をする仕事をしていた整灯手と言われる職員の勤務箇所でした。なお、最近まで倉庫として使用していました。



■かふふ来（幸福）の鐘（旧甲府駅の釣鐘）

この釣鐘は、かつて甲府駅上りホーム東端のこ線橋下部に吊り下げられていたものです。戦後、甲府駅構内の建物が火事になった際に釣鐘を連打し、大事には至らなかったというエピソードが残っています。なお、台座上部に明治36年に製造されたレールも展示いたします。



■甲府駅旧こ線橋柱

この柱は、明治36年に製造された鑄鉄架構の一部で、甲府駅の旧こ線橋に使用されていたものです。